

日本郵船、SOx排出99%減のメタノール燃料船竣工

Edited By LogisticsToday On 2019/10/07

日本郵船は4日、メタノールを燃料として運航するメタノール専用船「タカロア・サン」が韓・現代尾浦造船で9月30日に竣工した、と発表した。

同船は、同社グループのNYKバルクシップ（シンガポール）が世界最大のメタノール生産会社「メタネックス」（カナダ）傘下の海運会社に船舶管理付きで貸し出すもので、全長は183メートル、載貨重量は4万9000トン。

メタノールを燃料として使用する場合、重油使用時と比べて硫黄酸化物（SOx）排出量を99%削減できることが最大の特徴で、窒素酸化物（NOx）処理装置の搭載により、国際海事機関のNOx3次規制にも対応する。



Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/353654>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.